

様式3 令和6年度新座市学校評価システム学校運営協議会による評価シート

目指す学校像 (重点目標)	1 教職員が範を示し、自らも学び続ける学校
	2 満足感や達成感、充実感に満ちあふれた児童の笑顔輝く学校
	3 保護者、地域から親しまれ、認められ、信頼される学校
	4 落ち着きと美しさ、活気ある学校

学校名	池田小	学校
実施日	令和 7年 1月 10日	

<記入の仕方>

- 「自己評価」及び「学校運営協議会による評価」の欄には、S A B Cを記入してください。
- 「自己評価についての説明」の欄には、その評価に至った理由及び自己評価の結果を学校がどのように受け止めるか特記事項がある場合のみ記載してください。

評価項目「組織運営」

質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校運営協議会による評価	学校運営協議会による評価についての説明
学校は、ICTを活用する等、校務業務を効率化し、働き方改革に取り組んでいる。	A	・校務支援システムが変更され、今までと操作等が違うので、ストレスを感じている。 ・掲示板を利用し、ペーパーレス化が進んできた。アンケート集計が効率化してきた。生成AIを活用していくことで文章作成等の負担が軽減できるのではないかと。	A	校務支援システムの変更に先生も慣れてきたようなので、負担が減って行くことを期待したい。個人面談の日程調整など、Google formでの回答になり、改善されている。まだ、時間外勤務時間が長いので、底を改善してほしい。

評価項目「学力向上」

質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校運営協議会による評価	学校運営協議会による評価についての説明
学校は、児童が学習内容の理解を深めることができるように、指導と評価の一体化を重視した授業を展開している。	B	・ICTを活用し個別最適な学習が進んできた。 ・課題とまとめ、振り返りが正対した授業を心がけて取り組んでいる。 ・まだ、家庭学習の習慣が身に付いていない児童がいる。 ・教え込み型の授業がまだ多いので、問題解決型の授業を実施していく必要がある。 ・児童主体の学習に移行していくうえで、教員の力量が必要になっている。	A	子供たちがク롬ブックを使いこなしている様子が見られる。宿題や連絡なども学校と児童が双方向で行えている。先生方も様々な形で授業展開を工夫している。教科担任制がもう少し根付いたらさらに児童の学力の向上が見込める。

評価項目「豊かな心の育成」

質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校運営協議会による評価	学校運営協議会による評価についての説明
学校は、教職員自らが手本となり、児童に対して規範意識を高める指導を行っている。	B	・時間を守る、挨拶、名札や校帽の着用などは全教員が共通して指導した成果が表れてきた。 ・給食指導、無言清掃、外遊びの奨励など、教員によって指導や規範意識に差がある。 ・言葉遣いについても、教員が意識を高める必要がある。	A	先生方のあいさつ、声かけ、笑顔、子供との関わりなど素晴らしい。今後も継続してほしい。

評価項目「健康・体力の向上・安全」

質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校運営協議会による評価	学校運営協議会による評価についての説明
学校は食に関する意識を高める食育に取り組むなど、計画的に健康教育を推進している。	A	・給食委員会が食育を意識した取組を多く実践しているため、児童の意識が高まった。 ・学習内容とリンクした献立の工夫や、十文字学園女子大学と連携した活動を取り入れることで児童の食に対する関心が高まった。	A	食に関する取組は毎年素晴らしい。食に対して興味を持たせる委員会活動や放送、外部との連携など様々な取組をしている。栄養バランスを考えた献立ありがとうございます。健康教育としては、運動についても取り組んで行く必要がある。

評価項目「保護者・地域との連携協力」

質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校運営協議会による評価	学校運営協議会による評価についての説明
学校は、学校便りやホームページなどで、教育活動の様子や成果・課題などについて定期的に情報提供している。	A	・毎日ホームページを更新し、学校の様子を伝えている。 ・学校からのお便りなどお知らせをHome & Schoolで適宜お伝えしているが、保護者の既読率低さが問題である。学校から配信するものを精査する必要がある。 ・ホームページに掲載する際の個人情報に対する配慮や投稿内容に対する保護者からの批判などがあるので、載せる内容には注意する必要がある。	A	学校だよりで教育活動の様子や成果、課題がよく割れる。毎日ホームページを更新しているのがとても良いと思う。学校からのお知らせは内容によってHome&Schoolと紙での配付の判断をしてほしい。また、保護者もお便りを確認するようにしていかなければならない。